

2022年度 お茶の水地理学会活動報告

2022年度のお茶の水地理学会の活動は以下の通りです。

1. 3月24日(木) 会報『harmonie』80号発行(発行日は4月1日とする), 発送

2. 5月6日(金) 代表幹事会 参加者7名

3. 5月28日(土) 学年幹事会 参加者13名

総会 参加者20名

講演会 参加者106名(会員53名)

*講演会(共催:文教育学部・グローバル文化学環)

「フィールドワークする, 場所をつくる, そして地誌を描くーパプアニューギニアと陸前高田をつなぐもの」

講師:熊谷 圭知氏(本学名誉教授)

東京生まれ。一橋大学大学院修了後, 1982年から九州大学助手, 85年から阪南大学, 1992年4月から2020年3月までお茶の水女子大学教員として勤務。お茶の水女子大学名誉教授。専門は社会文化地理学, オセアニア地域研究。

コロナ禍で延長されていた熊谷先生の最終講義を兼ねて開催した。講演要旨を本誌に掲載。

*卒論優秀賞 発表

石倉 鈴音会員(70回生)「東京都大田区におけるものづくり拠点を介した協業体制のかたち」

4. 5月31日(火) 学会誌『お茶の水地理』61号発行

5. 9月17日(土) エクスカーション

「近世の巨大城下町・京都を歩く」(京都市)

案内者:内田 忠賢先生(元・本学助教授, 奈良女子大学教授)

中止(新型コロナウイルス感染拡大防止のため)

6. 9月30日(金) 会報『harmonie』81号, 設立40周年記念号発行(発行日は10月1日とする), 発送

7. 11月25日(金) 代表幹事会 参加者10名

8. 12月17日(土) 学年幹事会 参加者13名

講演会 参加者35名

*講演会

「地図・伊能図と出会う」

講師:鈴木 純子会員(9回生・(一財)地図情報センター顧問・日本地図学会名誉会員・伊能忠敬研究会特別顧問)

東京生まれ。お茶の水女子大学地理学科卒。定年退職まで国立国会図書館に勤務し, 主に地図資料を担当。同館定年退職後, 2006年まで相模女子大学講師(非常勤)。2021年, 日本地図学会野村正七地図賞受賞。

講演要旨ならびに関連論文を本誌に掲載。

(お茶の水地理学会事務局 北村 実央)